

## 1章 板橋区の特徴

---

- 1 板橋区の成り立ち
- 2 地理的・歴史的にとらえた板橋区の現状
- 3 まちの現状と景観
- 4 区民から見た景観
- 5 景観から見たまちの課題

# 1章

## 板橋区の特徴

- 板橋区の成り立ち
- 地理的・歴史にとらえた板橋区の現状
- まちの現状と景観
- 区民から見た景観
- 景観から見たまちの課題



### 1 板橋区の成り立ち

板橋区は、長い歴史と伝統に支えられて今日に至っており、区の成り立ちを今に伝える軌跡が、大地の上に重層的に残されています。

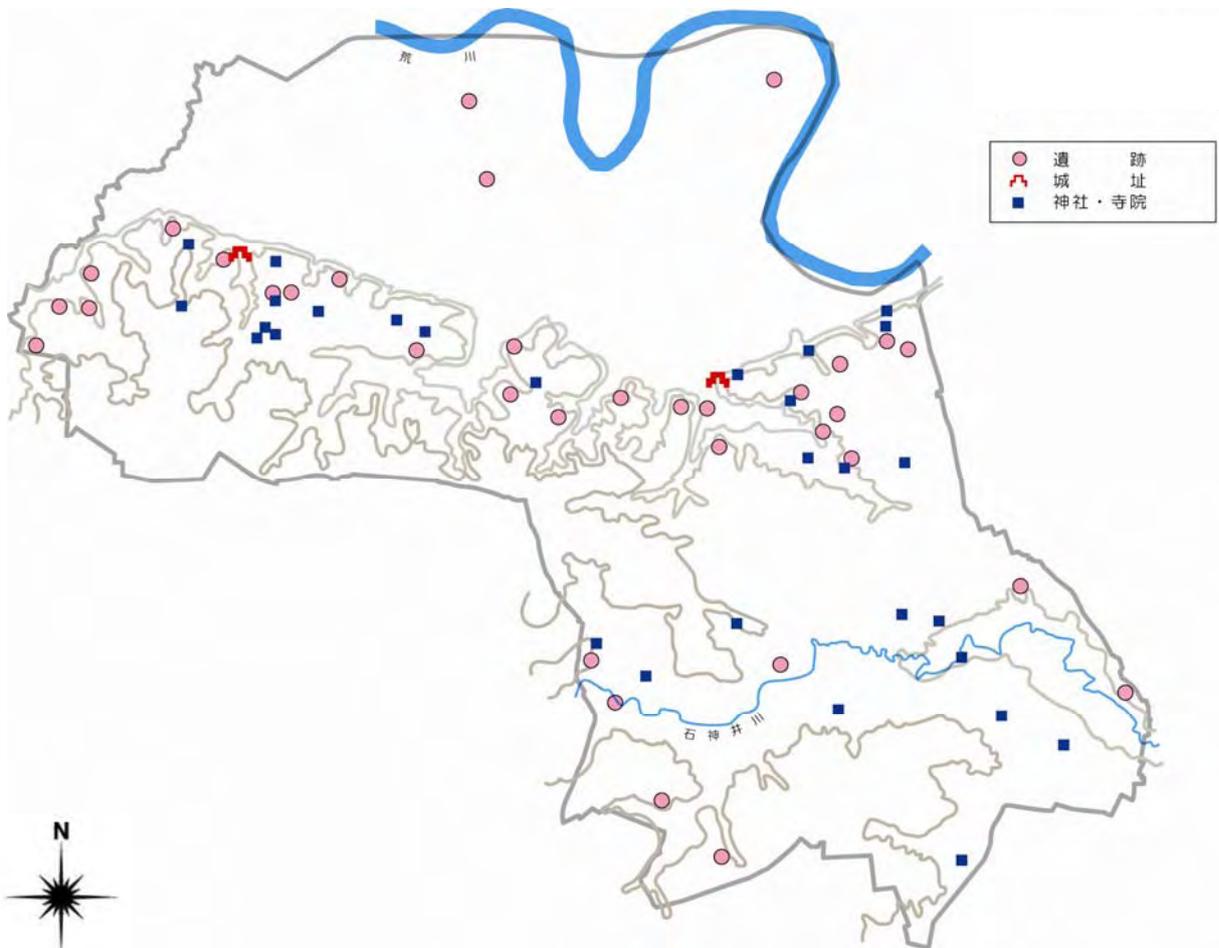
地域の個性や特徴を生かし、これからの景観まちづくりを進めていく上では、まちの歴史的な変遷を把握することが重要です。以下に、原始から現代に至る区の成り立ちをまとめます。

#### 原始～中世(旧石器～戦国)

##### — 武蔵野台地縁辺部での生活のはじまり —

約3万年前の旧石器時代から縄文、弥生、古墳時代の古来の人々が生活した痕跡が武蔵野台地およびその縁辺部などで確認されています。

中世には武蔵千葉氏が赤塚城・志村城を居城とし、赤塚城の周辺には赤塚郷という村の集合体が形成されます。また、現在も残る熊野神社や松月院など、神社仏閣がこの時代に建立されます。



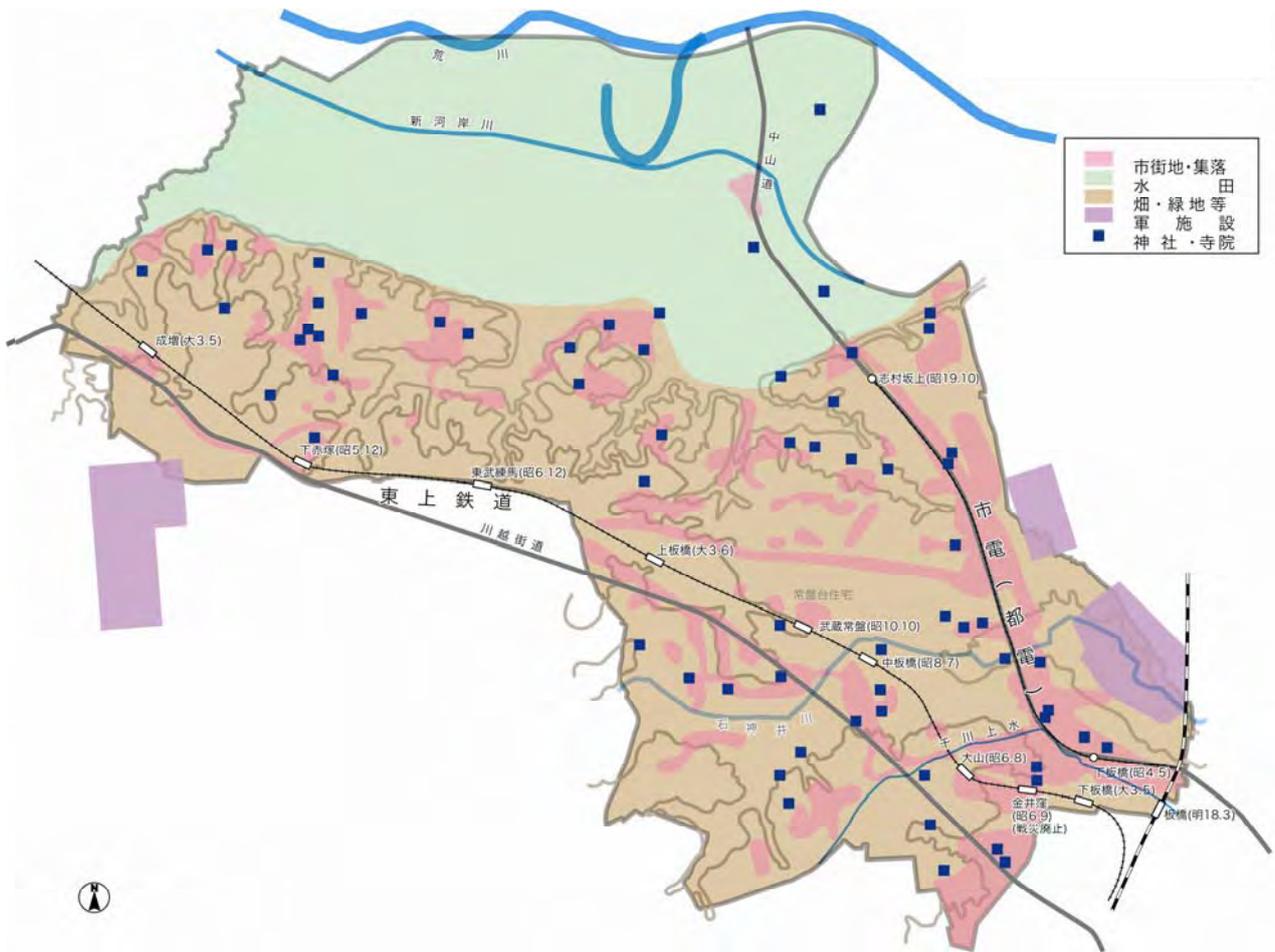


## 近代(明治～昭和戦前)

### — 都市化の進展と近郊農村の形成 —

明治6年に加賀藩下屋敷跡に火薬製造所などの軍施設が新設され、板橋の近代工業が幕を開けます。その後、品川・赤羽間の鉄道開通(明治18年)、東上鉄道(現東武東上線)開通(大正3年)、市電(都電)開通(昭和4年)および各駅の開業とともに、市街地が拡大します。

一方、荒川は氾濫による改修が幾度もくり返されます。また、徳丸田んぼなどに代表される荒川低地の水田では稲作、武蔵野台地では畑作が営まれ、近郊農村が形成されます。

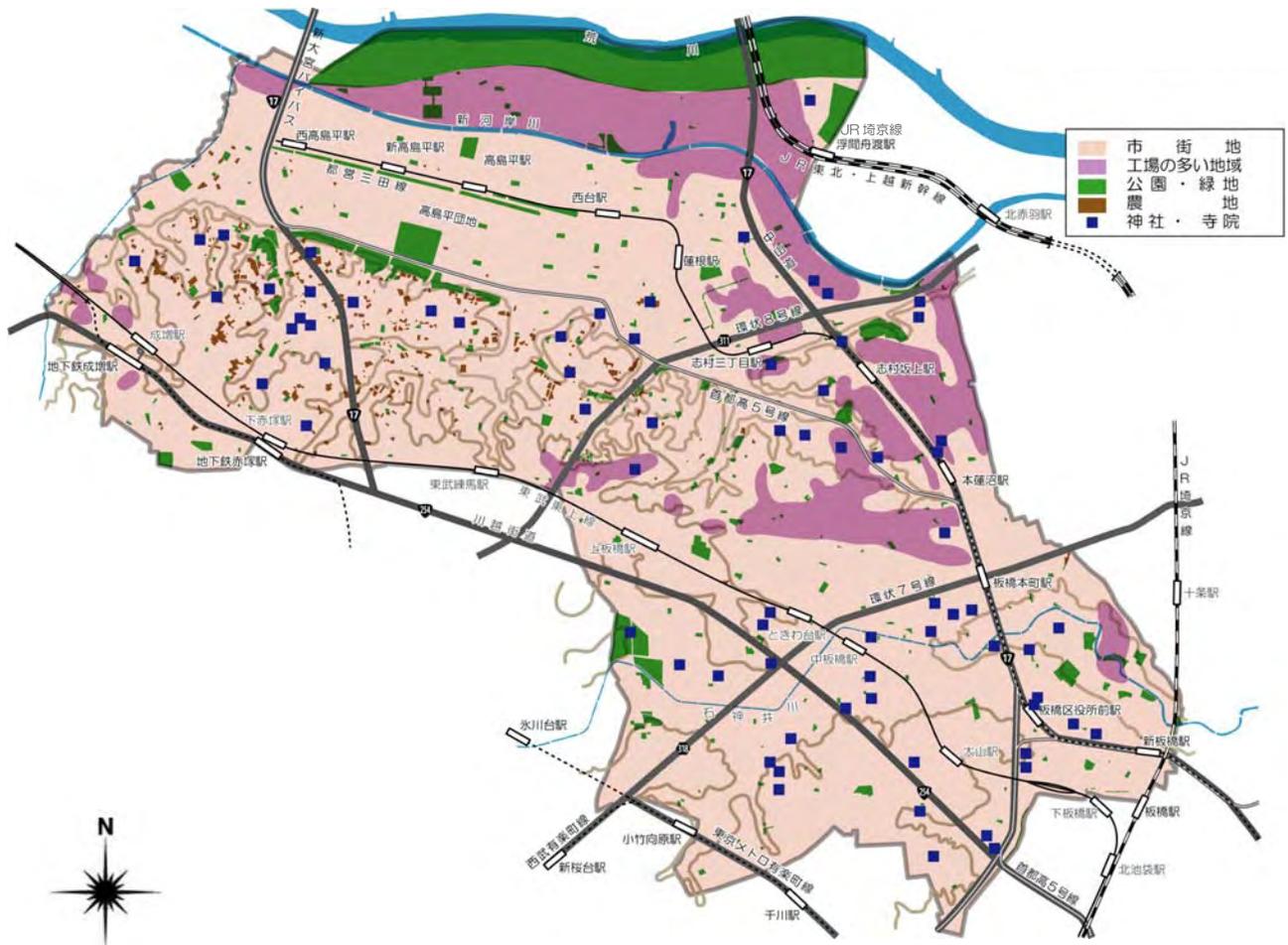


## 現代

### — 市街地の拡充と農地の縮小 —

環状7号線などの環状道路や首都高速道路といった幹線道路、都営三田線や東京メトロ(東京地下鉄)有楽町線の地下鉄など交通網が整備され、これら地下鉄の駅前や旧街道沿いを中心に、100 を越える商店街が形成されます。また、舟渡周辺などには工場地が拡大し、都内有数の工場集積地域に発展します。

一方、高島平などの開発が行われ、区内の市街地が拡大し、農地の減少が顕著になります。



## 2 地理的・歴史的にとらえた板橋区の現状

板橋区は、東京 23 区の北西部に位置しています。地形は武蔵野台地と荒川低地により形成されており、さらにこの荒川の支流である白子川・出井川（通称逆川）・石神井川・谷端川などの谷が縦横に形成され起伏に富んでいます。これらの板橋区の骨格を形成する特徴的な地形があり、そこで暮らしてきた人々の営みが歴史・文化資源として、かつての面影を今に伝えています。

今後の景観づくりでは、現在の景観を形成する地理的・歴史的な特徴を把握することが必要です。

### (1) 武蔵野台地と荒川低地

板橋区は、荒川と多摩川にはさまれた武蔵野台地の北東端付近に位置しています。区の面積の 4 分の 3 は平均海拔 30m 前後のこの台地上にあり、残りは北部の高島平一帯の荒川低地に連なっています。荒川低地は、河川改修が行われるまで、荒川が蛇行し、いく度も洪水を繰り返してきた場所です。

### (2) 武蔵野台地の崖線

武蔵野台地と荒川低地との崖線には、豊かな樹林地が形成されており、区の特徴的な景観を形成しています。

### (3) 変化に富んだ地形

武蔵野台地の崖線の樹林地や湧水、かつての川が刻んだ谷戸<sup>※3</sup>の面影が残る坂道に象徴される微地形<sup>※4</sup>、市街地をめぐる川・水辺など、変化に富んだ地形が形成されています。

### (4) 歴史・文化資源

神社仏閣などの建造物をはじめとした有形文化財のほか、歴史的な樹木や遺跡などの記念物、田遊びや祭囃子などの伝統的な祭りをはじめとした無形民俗文化財など、多くの歴史・文化資源が点在しています。

### (5) 街道

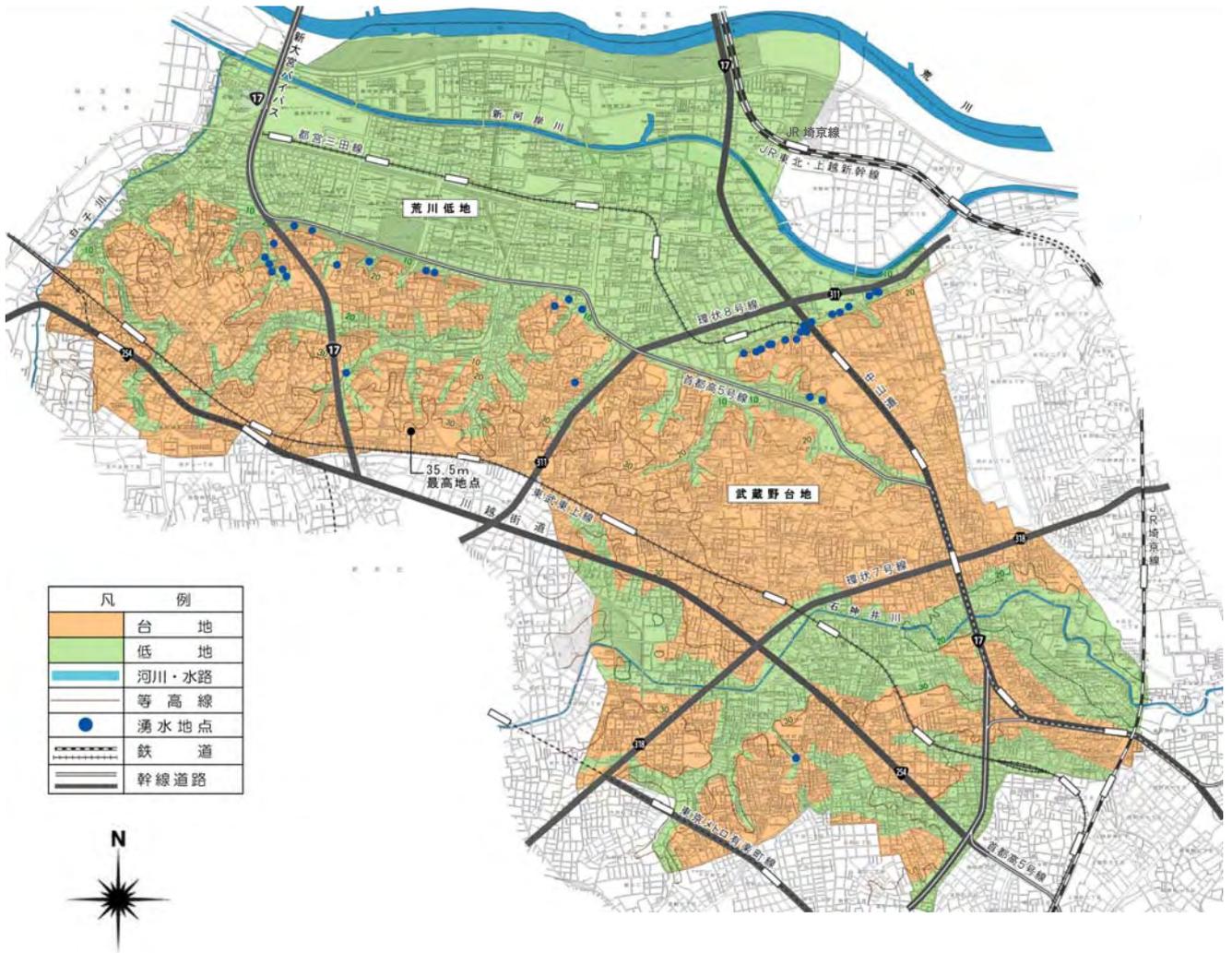
中山道の第一番目の宿場である板橋宿と、脇街道としての川越街道の上板橋宿は、物資・人・文化が集まる都市的な場として繁栄していました。

現在も沿道の歴史資源を生かしたまちづくり・商業振興が行われています。

---

※3 谷戸：三方を高さ数十メートルの丘陵に囲まれ、一方が開けた小川の源流域の地形。

※4 微地形：肉眼では景観として確認できるが地形図上では判別しにくい非常に小規模な地形。



▲交通・地形・水系図

### 3 まちの現状と景観

板橋区まちの現状と景観について、区の成り立ちや地理的・歴史的背景を踏まえ、以下の6つの視点で整理します。

#### (1) 地形

区の骨格をなしているのは武蔵野台地と荒川低地です。その間の崖線の樹林や高低差による坂道、また、荒川の緑地と石神井川の桜並木は、区の地形的な景観の特徴であり、緑や眺望などの豊かな景観を形成しています。



崖線の坂道と緑

#### (2) 道

中山道には志村一里塚があり、川越街道には五本けやきがあるなど、街道を中心とした歴史的背景をもつ街並みと、環状道路や高速道路沿線の都市型の街並みがあり、特徴的な景観を形成しています。



志村一里塚

#### (3) 商店街

古くからの宿場町として発展してきた旧中山道の商店街や、人々の暮らしと密着している駅周辺の商店街が、にぎわいのある景観を形成しています。



仲宿商店街

#### (4) 住宅地

街道と鉄道を中心に急速に住宅地が発達し、密集した木造住宅地や、計画的につくられた優良な戸建て住宅地があります。また、計画的に建設された集合住宅団地も、特徴的な景観を形成しています。



高島平の低層住宅

#### (5) 緑

崖線を中心とした樹林地周囲には歴史的建造物が分布しています。さらに崖線には湧水地があり、池と公園による大規模で豊かな水辺景観が形成されています。また赤塚地域を中心に農地が点在し、緑と土の柔らかい表情の景観を形成しています。



赤塚の農地

#### (6) 工場

志村地域は、中小規模の工場と倉庫、そして住宅が共存する景観を形成しています。また、新河岸川から荒川のエリアは大規模な工場が建ち並び、“工業の板橋”を印象づける景観を形成しています。



荒川沿いの工場群

## 4 区民から見た景観

平成 18 年 7 月に区民 3,000 人を対象として実施した景観アンケート（回答率 25.7%/771 人が回答）と、同年 9 月から翌年 2 月に開催した区民参加の景観ウォークラリーおよびワークショップの結果をもとに、区民から見た景観の現状などを示します。



### (1) 景観の現状

#### ① 景観に対する評価

板橋区全体の景観について、魅力的と思うと魅力的と思わないとする意見が同程度となり、評価が分かれています。

板橋区全体の景観の魅力		回答の割合(%)
魅力的と思う	5.5	30.4
やや魅力的と思う	24.9	
どちらともいえない		31.9
あまり魅力的とは思わない	27.5	37.7
魅力的と思わない	10.2	

#### ② 良い景観

「河川・池などの水辺空間」や「農地・緑地空間」など、水と緑に関わる空間や、「歴史的・文化的空間」を良いとする意見が多く挙げられています。

順位	良い景観
1	河川・池など水辺空間
2	歴史的・文化的空間
3	農地・緑地空間

#### ③ 悪い景観

「バイク・自転車の路上駐車」や「ゴミ、不法投棄」など、区民のマナーとも関係する身近な景観の乱れを好ましくないと感じています。

特に板橋地域や志村および赤塚地域では、大規模集合住宅(中高層マンション)について、街並みとの不調和や眺望阻害および圧迫感などの景観上の問題が指摘されています。

順位	悪い景観
1	バイク・自転車の路上駐車
2	ゴミ、不法投棄
3	電柱・電線の存在

#### ④ 特に大切な景観

赤塚公園や城北中央公園などの公園や石神井川や荒川などの河川および農地・緑地などの自然的な場所が特に大切な景観として挙げられています。

順位	特に大切な景観
1	赤塚公園(周辺含む)
2	石神井川
3	荒川(荒川河川敷含む)
4	城北中央公園
5	農地・緑地

### (2) 美しい景観づくりに必要な取り組み

公園・緑地の整備や電線類の無電柱化、区画整理や再開発などの計画的まちづくりを優先的に実施すべきとする意見が多く、まずは公共施設の景観を美しくすることが望まれています。

一方で、地域で定めたまちづくりのルールを守り、区民一人ひとりの手で自ら美しい景観づくりに取り組む意識も高くなっています。

## 5 景観から見たまちの課題

景観まちづくりを進めるにあたり、板橋区のまちの現状から必要なことや考えなくてはいけないことなど、課題について整理します。

- (1) 崖線の樹林や崖線上の湧水や坂道、歴史的建造物や樹木、および石神井川沿いの桜並木などの河川緑地を保全することが望まれます。
- (2) 道路の整備・拡張に伴い、街路樹整備や沿道建築物の高さ・色彩、屋外広告物などの景観に配慮したまちづくりが求められています。



(1) 石神井川の桜並木



(2) 川越街道

- (3) 商店街では、空店舗の活用や建築物の建築・改修などの場合における商店の連続性への配慮が求められています。
- (4) 建築物の建築・改修などによる、良好な緑の減少を抑えることが望まれます。



(3) 上板橋駅付近の商店街



(4) 志村の住宅

- (5) 緑豊かな樹林や公園とともに、農地景観の保全が望まれます。
- (6) 工場の建替えに伴い、地域と共存する緑化を主体とした整備が求められています。



(5) 赤塚の農地



(6) 荒川沿川の住工混在地